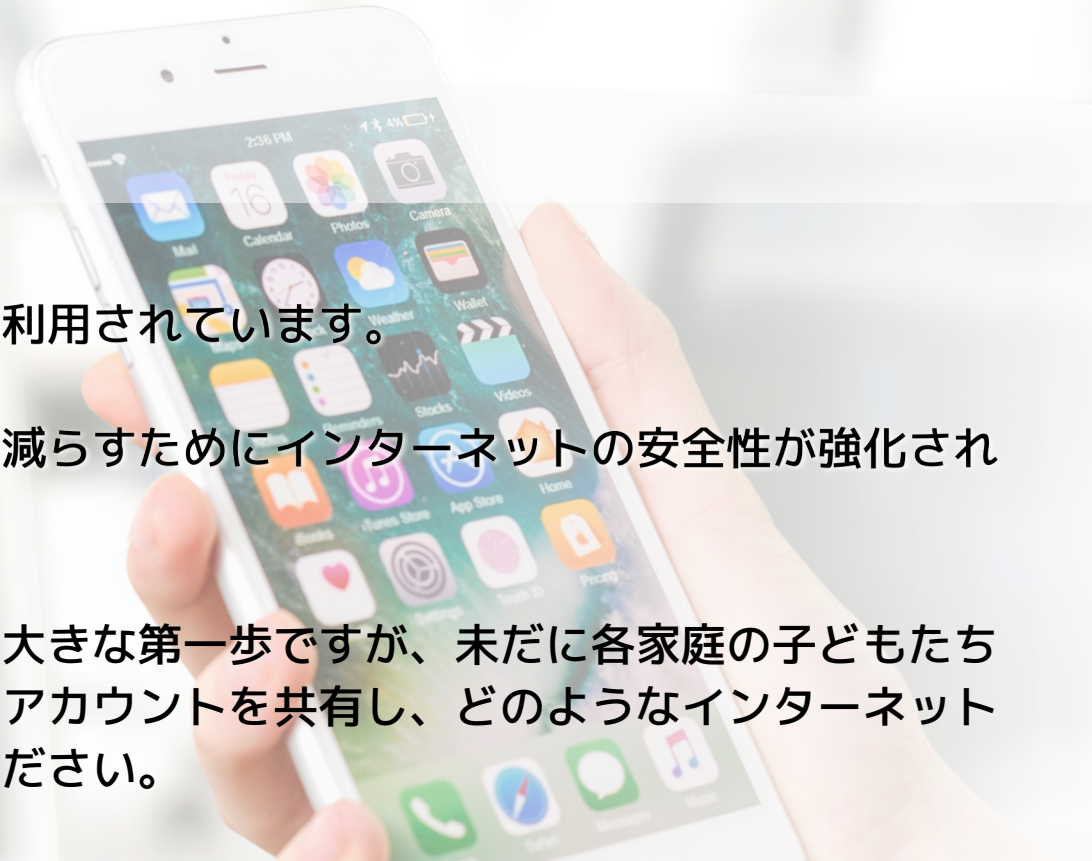


TikTokを使った児童搾取のリスクを減らす



日本では大人が児童を狙う手段としてTikTokが利用されています。

2021年1月に、大人に狙われる児童の危険性を減らすためにインターネットの安全性が強化されました。

このような安全性の強化は今後あるべき姿への大きな第一歩ですが、未だに各家庭の子どもたちは危険にさらされていると言えます。子どもとアカウントを共有し、どのようなインターネットの使い方をしているのかしっかりと見張ってください。

- 13-15歳の児童が作製した動画にコメントする場合、一部の機能に制限がかかります。このアカウントの友だちか、友だち以外かを選択するようになっており、誰でも無制限にコメントできる設定にはなっていません。
- デュエット機能、編集機能を使えるのは16歳以上に限られています。また、16-17歳のユーザーは初期設定が友だちのみになっています。
- 16歳以上のユーザーが作製した動画のみダウンロードすることができます。その他のユーザーは自分の動画のダウンロードを許可するのを選択できます。なお、16-17歳のユーザーは初期設定を変更しない限り、ダウンロード許可機能はオフになっています。
- 13-15歳のユーザーの初期設定では、アカウントおすすめ表示がオフになっています。

出典 <https://newsroom.tiktok.com/en-us/strengthening-privacy-and-safety-for-youth>